

# 自宅が資格学校（1級建築士）

## 1. 自宅を資格学校にするための方法

自宅に居ながら資格学校に通学したような状況をHPで提供するため、以下の講座を設ける。  
 なお、(3)は2019年以降の実施予定である。

- (1) 学科: 模擬試験の難易度別分析表 …無料(会員対象)
- (2) 製図: 予測課題の作図&記述の添削とランク評価 …1添削3千円(会員対象)
- (3) 学科&製図: パワーポイント音声付き解説

### (1) 学科: 模擬試験の難易度別分析表

- ・資格学校では、定期的に模擬試験を実施して、その全受験者の順位等から各自の実力を把握できる。
- ・これを自宅で再現するには、同じように模擬試験を自宅で実施し、分析表(エクセル表をHP貼付)で現在の実力が把握できるようにする。
- ・研究会の模擬試験は適宜受けれるようにしたため、全受験者の順位は分からない。従って、模擬点数で現在の実力を把握することにした。
- ・そのためには、過去問H21～H29までの問題を難易度別(容易、普通、難解)に分けて分析し、その難易度別での模擬試験の点数から現在の実力が合格圏であるかを把握できるようにした。
- ・この模擬試験を実施し、正解問題を評価表に入れることで、自動的に現時点での得点と合否実力が判明する(下図参照)。

・レベル1～3の模擬試験の合格圏(目標点)を下記に示す。

- ① レベル1(合格圏102点): 本試験と同等の難易度「レベル2」より**若干容易**(レベル2より容易問題数+5問、難解問題数-5問)
  - ② レベル2(合格圏100点): 本試験(H21～H29)の問題を難易度別(容易、普通、難解)に分類・分析し、**本試験と同等**の難易度
  - ③ レベル3(合格圏98点): 本試験と同等の難易度「レベル2」より**若干難解**(レベル2より容易問題数-5問、難解問題数+5問)
- なお、各レベルでの点数が110点以上なら、合格確実と推定している。

1級建築士(学科) (レベル1: 本試験より若干容易、レベル2: 本試験と同程度、レベル3: 本試験より若干難解)

## 模擬試験レベル1の採点表

得点 94 点

<b>容易</b> (多くの方が解けた問題) = 目標100%正解	29 / 34	=	<b>85 %</b>
<b>普通</b> (半分の方が解けた問題) = 目標80%正解	54 / 69	=	<b>78 %</b>
<b>難解</b> (多くの方が解けない問題) = 目標60%正解	11 / 22	=	<b>50 %</b>

正解した問題は、下表の「0」を「1」に変更して下さい。

I 計画				II 設備				III 法規				IV 構造				V 施工			
NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解
1	1			1	1			1	1			1	1			1	1		
2			1	2	1			2	1			2	1			2	1		
3		1		3		0		3		1		3	1			3			0
4	1			4	1			4		1		4		1		4		0	
5		0		5			1	5		0		5		1		5		1	
6	1			6		1		6		1		6		1		6		1	
7		1		7		1		7		1		7		0		7			1
8	1			8		1		8		1		8		1		8		1	
9		1		9		1		9		1		9		0		9			1
10		1		10		1		10		0		10		1		10		0	
11			0	11		0		11	1			11	1			11	1		
12	0			12		1		12		1		12	0			12	1		
13		1		13		1		13		0		13		0		13		1	
14		0		14	1			14		1		14		1		14		0	
15	1			15			0	15		1		15	0			15		1	
16			1	16		1		16		0		16		1		16		1	
17	1			17			0	17		1		17		0		17		1	
18			1	18		1		18	1			18	1			18		0	
19	1			19		0		19		0		19		1		19			1
20		1		20	1			20		1		20		1		20		1	
21				21				21		1		21		1		21		1	
22				22	1			22	1			22		1		22		1	
23				23		1		23		1		23		1		23		1	
24				24			0	24		1		24		1		24			0
25				25		1		25		1		25		1		25		1	
26				26		1		26		1		26		1		26		1	
27				27		0		27		0		27		0		27		0	
28				28		0		28		1		28		1		28		1	
29				29		1		29		1		29		0		29			1
30				30		1		30		1		30		1		30		1	
正解数	7	6	3	正解数	5	8	2	正解数	6	19	0	正解数	5	14	3	正解数	6	10	3
問題数	8	8	4	問題数	5	11	4	問題数	8	19	5	問題数	7	18	5	問題数	7	13	5

① 容易(I、II、III、IV、V)の正解数	29							
② 普通(I、II、III、IV、V)の正解数	54	目標点	34 × 1 = 34 点	69 × 0.8 = 55 点	22 × 0.6 = 13 点	合計	102	点
③ 難解(I、II、III、IV、V)の正解数	11							

合計得点(目標102点) ←

このレベル1の問題は、容易が34問、普通が69問、難解が22問となっている。この正解数が水色部分であり、その正解率が示されている。各自が難易度別にどの程度できるかが分かる。 ←

不正解は0のまま ←

正解は1へ変更 ←

学科別の難易度別正解数 ←

目標点の根拠、容易は100%、普通は80%、難解は80%の正解を目指す ←

## (2) 製図: 予測課題の添削とランク評価

- 資格学校では、6時間半をかけて作図&記述を仕上げ、その内容について指導員のチェックを受ける。
- これを自宅で再現するには、次のことを実施する。
  - HP上で公開する「予測課題(毎年3事例あり)」を、**自宅で試験同様(6時間半)に作図&記述**する。
  - その図面と記述内容を、**研究会へメール連絡**する(図面と記述はA3件PDF)。
  - その内容を、こちらで**添削し、ランク評価**(研究会独自の採点法)し、**メール返却**する。
- 資格学校では、多くの受験者が同時に学習しているので、作図&記述の終了後の添削は、概ね10分~30分程度である。
- 研究会は、概ね2時間程度をかけて添削とランク評価をする(個別対応での時間を要するので3千円/1件での対応)。  
⇒昨年の添削・評価例を下記に示す(H29S氏:ランクIと想定し結果も合格であった)。

※本件対応は、毎年、8月の模擬課題アップ後となる。

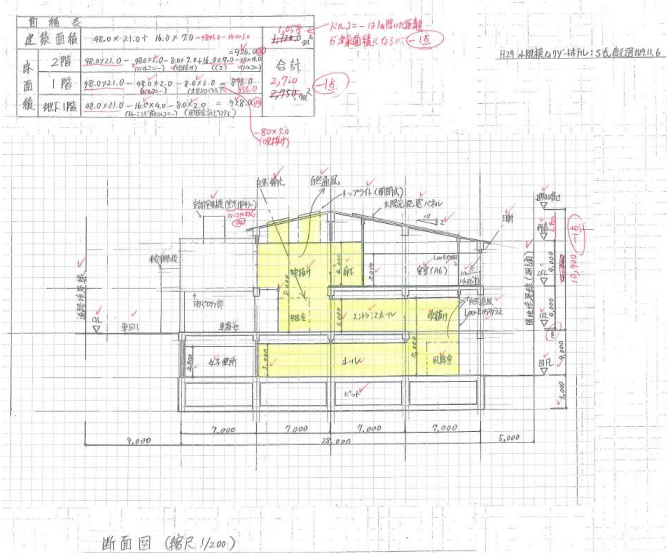


図1 図面の添削例(平面図は会員講座で公開中)

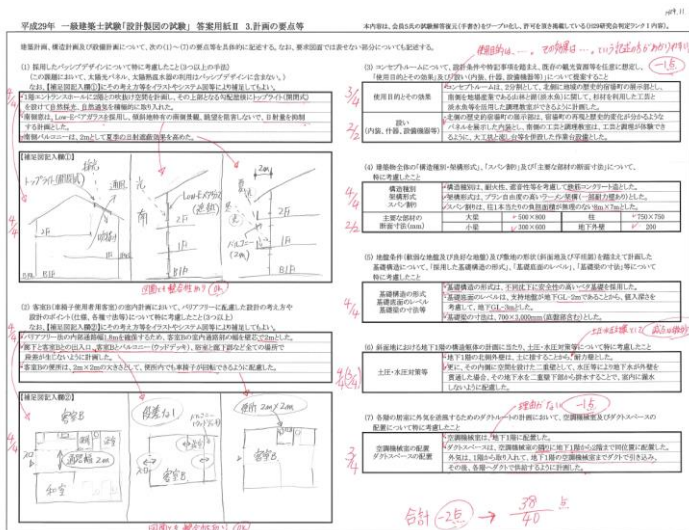


図2 記述の添削例

平成30年度 建築士試験 設計製図の試験 解答用紙 3. 計画の要点等

採点項目	採点内容	採点結果
1. 建築計画	(1) 簡潔なレイアウトの作成に努め、主要な空間の配置は、設計の目的と用途に適合するように示す。必要に応じて、空間の配置や形状の工夫を工夫して示す。	3/4
2. 構造計画	(2) 構造計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、構造の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
3. 設備計画	(3) 設備計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、設備の配置や形状の工夫を工夫して示す。	2/4
4. 建築計画	(4) 建築計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、建築の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
5. 設備計画	(5) 設備計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、設備の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
6. 建築計画	(6) 建築計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、建築の配置や形状の工夫を工夫して示す。	3/4

図3 採点一覧表

採点項目	採点内容	採点結果
1. 建築計画	(1) 建築計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、建築の配置や形状の工夫を工夫して示す。	3/4
2. 構造計画	(2) 構造計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、構造の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
3. 設備計画	(3) 設備計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、設備の配置や形状の工夫を工夫して示す。	2/4
4. 建築計画	(4) 建築計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、建築の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
5. 設備計画	(5) 設備計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、設備の配置や形状の工夫を工夫して示す。	4/4
6. 建築計画	(6) 建築計画は、建築計画に適合するように示す。必要に応じて、建築の配置や形状の工夫を工夫して示す。	3/4

図3 採点一覧表

## (3) 学科&製図: 音声付き解説

- 資格学校の最大のメリットは、ライブ講座である(最近では、講座内容のDVD視聴もある)。
- これを自宅で再現するには、HPで音声解説講座が見られるようにすれば良い。
- ⇒この対応は、2019年から組み込んでいく予定である(無料:会員講座)。

音声解説は、「パワーポイントによる音声付き解説」を予定している。ただし、この音声解説のみ外注となることから、会員数の状況により作成となる。研究会は、利益を得る企業とは異なり、実行委員による資料無料作成をしている。会員費用は全額をHP運用費に充当しているが、この音声解説では1対応数十万円となることから、会員数に比例して製作する予定である。

以下は、S氏からのメール内容(無料講座にて紹介済み)

建築資格研究会様  
\*\*です。  
合格しましたので連絡します。  
通学するか迷いましたが、初年度は御社HPだけで受験すると決めて、ダメ元のような感じでしたが、一発合格となり、感謝してます。  
今後、私のような方も増えると思いますので、毎年、80%以上ズバリの中する予測課題を当て続けてください。  
本当に合格できたのは、御社HPのおかげと思っています。  
ありがとうございました。  
⇒この方は、HPの「H29合格と推定した図面等のご紹介」のS氏です。